

2018年度 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターにおける  
オリンピック・パラリンピック教育の取り組み:セミナー及びワークショップを中心に

A report of Olympic & Paralympic Education in WASEDA Research Center for  
Olympic & Paralympic Education in 2018:Focusing on seminar and workshop

友添秀則<sup>1)</sup>, 深見英一郎<sup>2)</sup>, 吉永武史<sup>3)</sup>, 岡田悠佑<sup>4)</sup>, 東海林沙貴<sup>5)</sup>, 竹村瑞穂<sup>6)</sup>,  
根本想<sup>7)</sup>, 小野雄大<sup>8)</sup>, 梶将徳<sup>9)</sup>, 青木彩菜<sup>10)</sup>

<sup>1), 2), 3), 4), 8), 9), 10)</sup> 早稲田大学スポーツ科学学術院

<sup>5)</sup> 吉川市立美南小学校

<sup>6)</sup> 日本福祉大学スポーツ科学部

<sup>7)</sup> 育英短期大学

Hidenori Tomozoe<sup>1)</sup>, Eiichiro Fukami<sup>2)</sup>, Takeshi Yoshinaga<sup>3)</sup>, Yusuke Okada<sup>4)</sup>, Saki Tohkairin<sup>5)</sup>,  
Mizuho Takemura<sup>6)</sup>, So Nemoto<sup>7)</sup>, Yuta Ono<sup>8)</sup>, Masanori Kaji<sup>9)</sup>, Ayana Aoki<sup>10)</sup>

<sup>1), 2), 3), 4), 8), 9), 10)</sup> Faculty of Sport Sciences, Waseda University

<sup>5)</sup> Minami Elementary School, Yoshikawa City

<sup>6)</sup> Faculty of Sport Sciences, Nihon Fukushi University

<sup>7)</sup> Ikuei Junior College

キーワード: スポーツ庁, オリンピック・パラリンピックムーブメント,  
オリンピック, パラリンピアン

Key words: JAPAN SPORTS AGENCY, Olympic & Paralympic Empowerment,  
Olympian, Paralympian

### 【抄 録】

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター(WASEDA ROPE: WASEDA Research Center for Olympic & Paralympic Education; 以下、「早大オリ・パラセンター」)は、スポーツ庁が推進する「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の委託を受けて2016年7月29日付で発足した。1年目の2016年度は、岩手県、広島県、熊本県の3地域、2年目となる2017年度は、2016年度の3地域に札幌市、岐阜県、静岡県を加えた6地域の教育委員会等の方々と連携して事業に取り組んできた。3年目となる2018年度は、2017年度の6地域に、横浜市、埼玉県、静岡市、滋賀県、香川県の5地域を加えた11地域の担当となった。2018年度の事業も、2017年度同様に、授業場面と授業場面以外の事業に大別でき、本稿では、特に授業場面以外の事業を中心に記述した。具体的には、セミナー及びワークショップの取り組みについて詳細に紹介した。

そして、これらの取り組みの成果として、地域セミナー及び地域ワークショップで実施したアンケート調査を通して、参加した教員のオリンピック・パラリンピック教育に対する意識が向上したことが明らかになった。また、今後の課題として、オリ・パラ教育を行う教員の意識の向上を目的として、組織体制の相違が推進方法に与える影響等、各推進地域の推進方法の効果検証を行っていく必要があることを指摘した。

スポーツ科学研究, 16, 14-25, 2019年, 受付日: 2019年4月24日, 受理日: 2019年7月9日

連絡先: 友添秀則 〒359-1192 所沢市三ヶ島 2-579-15 早稲田大学スポーツ科学学術院

tomozoe@waseda.jp